



# 清流

【校訓】 「叡智を磨き合う」 「友情を育む」 「未来を見つめる」

令和2(2020)年5月15日  
たつの市立揖保川中学校  
発行：校長 嘉ノ海 仁士

## 『がんばれ 揖保川!! コロナに 負けるな』 ~ともに乗り切っていきましょう!~

新型コロナウイルス感染拡大防止のための臨時休業が長期化し、先行き不透明な状態が続いています。新聞やテレビでは、コロナウイルスに関する多くの報道があり、世の中全体がコロナウイルスと闘っている状況です。特に、最前線で働いてくださっている医療従事者の方々や私たちの社会を支えてくださっている多くの方々には、感謝を申し上げたいと思います。



私たち教職員も、今後、ウイルス感染拡大防止のことをはじめ、学校再開後の授業のこと、今後の学校行事のこと、夏休みのこと、部活動のことなど、さまざまなことを考えていかなければなりません。現在も日々状況が変化している中で、学校も試行錯誤の毎日ですが、たつの市教育委員会とも連携しながら、今後の対応を行っていくつもりです。保護者の皆様も、さまざまな不安や心配等があるかと思いますが、何卒ご理解をお願いいたします。



感染拡大防止には、「社会的距離(ソーシャル・ディスタンス)」が大切だと言われています。これは、人と人との十分な距離をとること、つまり物理的な距離のことで、「身体的距離(フィジカル・ディスタンス)」とも言われています。一方で、こんな時だからこそ、人と人との心理的距離を短くすること、つまり人と人との心のつながりを保つことが大切になってくるのではないのでしょうか。

今回、先生たちは、「皆さんとつながりたい、皆さんを応援したい」という思いを込め、『がんばれ 揖保川!! コロナに負けるな』という文字に色付けし、体育館2階と校舎2階に掲示しました。ともに、この状況を乗り切っていきましょう!!

※昼夜逆転の生活を送っている人は、本来の学校生活のリズムを意識し、規則正しい生活を心がけていきましょう。そして「今日やること」「明日やること」などを決め、計画的に取り組み、メリハリをつけた生活を送ってください。今の自分の生活をコントロールできるのは、自分自身しかないので

### 「今ある環境で何ができるか」(永野美穂選手)

「あれがない、これがないではなく、今ある環境で何ができるかを考える。アーチェリーを続けてこられたのも『自分に残された何を使えばできるか』を考えてきたから。」これは、ロンドンパラリンピック(2012)・アーチェリー日本代表の永野美穂選手の言葉です。

アーチェリーは、通常両手を使うスタイルですが、彼女の場合は、左腕が動かせないので、右手で弓を持ち、口で矢をくわえ弦を引くという独特のフォームになります。彼女が矢を的に当てるためには、両手で競技を行っている人以上に、安定度を高めなければならず、想像を絶するような集中力が要求されます。競技生活の中では、くじけて諦めそうになったり、自分を責めたりするなど、彼女は辛く困難な経験を多くしてきたことでしょう。このような経験を経て、少しずつ自分の障害に向き合うようになり「自分に残されたものをどう使うか」「今ある環境で何ができるか」という今の彼女の考えにたどりついたようです。

人は、困難な状況に置かれた時、自分にないものや足りないものにだけ目を向け、諦めたり逃げ出したりすることがよくあります。彼女の言葉は、ないものや足りないものに目を向けるのではなく、「今あるものに目を向け、自分に何ができるのか」そして「それを最大限にどう生かしていくのか」という視点で物事を捉えることの大切さを教えてくれているような気がします。



## ★『よくわかる！揖保川中学校』を作成

これは、中学校生活の約束ごとを『生活面』『学習面』等に分け、具体的に書いたものです。紙面の都合上、詳しいことまでは記載していませんが、『生活面』『学習面』『その他』の欄に、それぞれ6項目ずつ概要のみを書いています。職員室前と生徒下足場付近に掲示していますので、ご覧ください。（HPにも掲載予定です）

### ○『生活面』

「欠席・早退」「登校・下校」「校外での約束」「通学・交通ルール」「服装・持ち物等」「めざす生徒像」

### ○『学習面』

「持ってくる学習用具」「朝読書」「授業に臨む心構え」「家庭学習の習慣化」「テストの受け方」「校時表」

### ○『その他』

「R2年度主な行事予定」「緊急連絡」「警報発令時の登校等」「健康管理」「教育相談（SC）」  
「その他のお知らせ」



## ★臨時休業中の学校の今.....

職員室では、学校再開後の授業準備をしている先生、教室のロッカーや廊下の壁のペンキ塗りをしている先生、次の学習課題を作成している先生、教室の掲示物を整えている先生.....などさまざまです。

どの先生たちも早く皆さんと再会できることを望んでいます。そして授業や部活動が当たり前に行えることを期待しています。当たり前のことが当たり前に行えない状況に置かれると、通常の学校生活がどれだけありがたいことか痛切に感じています。



## 〈新しいALTの自己紹介〉

ミカエル先生です。英語の授業でお世話になります。よろしくお願いします！

### ○「英語バージョン」自己紹介

Greetings! My name is Michael, I've recently joined the team at Ibogawa Middle School!

I am from Sydney , Australia. I have lots of experience teaching English to Japanese people

while I was living in Sydney and have developed a passion for languages. I

am artistically inclined, and have a bachelor's degree in graphic design. I

hope that I will be able to instill the desire and passion for learning

languages to my students. I can't wait to meet them!



### ○「日本語バージョン」自己紹介

初めまして、ミカエルと申します！私はシドニーから来ました！シドニーで日本人に英語を教えた経験がたくさんあります。大学ではグラフィックデザインを専攻していました。ピアノを弾くことと読書することが趣味です。揖保川中学校で英語を教えることができて光栄です！よろしくお願い致します！



## 【保護者の皆様への連絡】

○お忙しい中、課題配布日（5/11～5/13）にご来校いただき、ありがとうございました。

○休業中の心理的な不安や学習等の相談については、遠慮なく学校までご連絡ください。

（揖保川中学校 0791-72-2673）

○コロナウィルス感染拡大の状況等により、追加連絡や急な変更等もありますので、今後もホームページ、連絡メールをご確認ください。